

特別デザイン機「タイガースジェット」の三代目が就航

2018年11月19日

スカイマーク株式会社は、阪神タイガースとのコラボレーション企画であるタイガースジェット特別デザイン機の三代目を、12月1日から運航いたします。

阪神タイガースは兵庫県の阪神甲子園球場を本拠地として、日本プロ野球（一般社団法人日本野球機構）の中で歴史と人気を誇る球団です。また、日本全国に熱狂的なファンが多いことでも知られています。

三代目タイガースジェットは、初代と二代目のデザインを踏襲しながら最大級の虎マークを掲げ、就航地の空を飛行します。

▶ 特別デザイン機「タイガースジェット」概要

- 特別デザイン機材：ボーイング 737-800 型機 1機(JA73NR)
 - 運航予定期間：2018年12月1日～2019年シーズン終了の頃まで
 - 運航路線：全路線
 - デザインコンセプト：阪神タイガースを応援する企画として初代より続いているコラボジェットですが、今回は球団のシンボルである虎のマークを最大級にしました。2019年の日本一を目指して、力強く飛躍することを表現しています（虎の大きさは約4m×4m）。
- また、機体右側面には大きなラッピングが施され、阪神タイガース公式マスコットキャラクターのトラッキー、キー太、ラッキーの、元気はつらつとした様子が描かれています。

【「タイガースジェット」機体デザインイメージ図】



※運航期間中の機内イベントについては、タイガースジェット特設ページにてご案内を予定しております。